

ランパーンでのえほん展

ミントさんの呼びかけから実現したランパーン初のえほん展。4日間で約1,000人が参加して大盛況。当県の知事さんも来場し、次回は県教育局が招待してくれることに！



りました。小さい頃から「本を読んでから寝る」という習慣も身につけて、どんどん本が好きになっていったミントさん。一番好きな本は？と聞くと、「そうですね、ミヒヤエル・エンデ作の『モモ』かな」と答えてくれました。「獣医の仕事始めた頃に出会った本です。主人公のモモは時間を大切にしています。周囲の人たちとの関係を時間をかけて育てていくのは大事なことだよ、そんなメッセージが込められていると感じました。獣医としてどんな風に仕事をしていくかと考えていた頃だったので、とても印象に残りました。この本のように僕のような大人も子どもも読める本は素晴らしいと思います」。

マレットファンと初めて会ったその場で、自分の暮らすランパーンでもぜひえほん展を開催してほしい！と語りかけたミントさん。自分は地域のつながりを活かしてマレットファンを迎える環境を整え、本と子どもたちを繋げる場を作ろうと考えました。そして実現したランパーンでのえほん展は子どもたちの好奇心と笑顔でいっぱい、大成功となったのです。

ミントさんのマレットファン（夢のたね）は？
What's your "Maletfan"?

大人も子どももそれぞれ大好きな本に巡りあえること。

マレットファンとの出会いは？
How did you meet Maletfan?

チェンライで

マレットファンのえほん展が開催される

というチラシを見つけておもしろそうと思い、家族を連れて行って見ました。ランパーンからは車で3時間、旅行も兼ねてです（笑）。子どもにとってはほかの子どもと遊ぶいい機会にもなりますし、行ったのは最終日、ワークショップは終わっていましたが、親子と一緒に本と過ごす時間と場所が作られていて素晴らしいと思いました。マレットファンの3人と喋っているうちに彼女たちが本と子どもを繋げることにすごい情熱を持っていることがわかりました。それならぜひランパーンに来てほしいとお誘いしたんです。

「ランパーンにも来てほしい」と言われてびっくり。あれよあれよという間にミントさんは地元の教育委員会や図書館関係者や先生に話をつけて、本当にランパーンでのえほん展が実現しました。ミントさんの情熱と行動力に感激しますし、こうしてえほん展の輪が広がっていくことがとてもうれしいです。（マレットファンの久美さん）